

韓国慢性期医療協会の方々が来院されました

4月20日（水）、韓国慢性期医療協会より金徳鎮（キム・トクジン）会長【喜縁(ヒヒョン)病院理事長】ほか23名の方々が「日本の老人医療現場での定期研修」として、昨年の3月に続いて、永生会を来訪されました。この研修は長年継続されており今回で第66次を数えるとのことです。



南多摩病院では益子院長より南多摩病院の概要説明と「高齢化社会の救急医療」と題して、地域包括ケアシステムのあるべき姿や、地域包括ケアシステム構築の背景、病院救急車の運用状況等に関するプレゼンテーションを行っていただきました。



引き続き、3グループに分かれていただき、南多摩病院の病棟をご見学いただき、その後は質疑応答と意見交換を行いました。

